福岡和白病院 広報誌

いのち、痛みに全力

地域医療により大きく貢献!!

VOL.
67
2026.10



CONTENTS

2-3 診療科特集：婦人科
婦人科がんのご紹介
4 定期演奏会
5 医療連携の会開催報告
献血開催報告・次回開催案内
6 健康フェスタ開催案内
市民公開講座 開催スケジュール
7 医療連携医のご紹介

診療科特集

婦人科がん

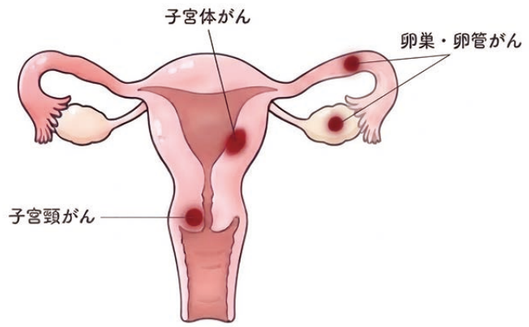
低侵襲化する手術と術後のオーダーメイド医療にむけて



01 婦人科がんとは

婦人科がんは、主に骨盤内の子宮、卵巣・卵管より発生するがんの総称で、主に子宮頸がん、子宮体がん、卵巣・卵管がんの3つよりなります。

子宮頸がんは適切なスクリーニングと初交前のワクチン接種により今後の罹患率・死亡率の低下が見込まれていますが、生活様式の欧米化、晩婚化により子宮体がん・卵巣がんは増加傾向です。子宮体がんは閉経後の不正性器出血を主訴とすることが多く、早期例が大半ですが、卵巣・卵管がんは無症状であることが多く、大半が腹腔内に広がった状態の進行例でみつかります。



02 婦人科治療の進歩

1 | センチネルリンパ節生検

今年度の保険改定によりセンチネルリンパ節生検が初期の子宮頸がん、子宮体がんで施行可能となりました。センチネルリンパ節とは原発巣から最初にリンパ流が到達するリンパ節のことです。理論的には、センチネルリンパ節に転移がなければ、その上流のリンパ節に転移がないとしています。術中迅速病理組織診断(当院ではOSNA法を施行)にてセンチネルリンパ節への転移がないことが証明できれば、その上流のリンパ節の郭清を省略でき、リンパ浮腫などの合併症の軽減などが期待できます。

2 | 手術の低侵襲化

今まで開腹で施行していた手術が腹腔鏡やロボット手術で施行可能になってきています。今年度保険改定されたものに子宮体癌IB期における傍大動脈リンパ節郭清が腹腔鏡やロボットで保険適応になり、今後、施行できるようにしていこうと考えています。また今年よりシングルポートでのda Vinci(da Vinci SP)が当院に入りましたので、さらなる低侵襲な手術への取り組みも少しずつ始めています。

3 | 遺伝子解析を含む個別化医療

子宮体癌においては、遺伝子解析によりMicrosatellite instability (MSI) -HighやTumor mutation burden (TMB) -highの腫瘍は免疫チェックポイント阻害薬が効きやすいことが報告されており、初回治療や再発治療で免疫チェックポイント阻害薬の導入がされてきています。また卵巣癌においては相同組み換え修復異常(HRD)の有無により、化学療法後の維持療法の個別化がされています。また再発子宮頸癌に対するチソツマブベトチンや再発卵巣癌に対するミルベツキシマブソラブタンシンなどの抗体薬物複合体など新しい治療の導入も考慮しています。

03 当院婦人科での婦人科がん治療

■ 子宮頸がん

I-II期の早期のものは手術での根治が可能であり、当院でもセンチネルリンパ節生検を併用した腹腔鏡を含めた根治術の施行は可能です。III-IV期の進行例は主に腔内照射と骨盤外照射、化学療法、免疫療法のくみ合わせによる放射線化学療法となります。腔内照射の施行可能ではない当施設では腔内照射の可能な施設へのご紹介となります。

■ 子宮体がん

標準治療は手術になり、初期のものが大半です。初期の子宮体癌は当院でもロボット(da Vinci Xi or 今後はda Vinci SP) を使用した根治術を積極的に行っています。またIA期のものに関してはICG(インドシアニドグリーン)を使用したセンチネルリンパ節生検を併用しています。術後は再発リスクに応じて追加治療として放射線治療や化学療法を行います。

進行例・術後病変残存症例、再発例などに対しては化学療法と免疫チェックポイント阻害薬、マルチキナーゼ阻害薬などの組み合わせにて治療を行います。



■ 卵巣・卵管がん

手術と抗癌剤による治療になりますが、手術は当院外科と協力して、可能な限り腹腔内の腫瘍を摘出することを目指します。術前・術後の化学療法においては相同組み換え修復異常(Homologous Recombinant Deficiency: HRD)の有無に基づいて、血管新生阻害薬やPARP阻害薬などの分子標的治療薬を織り交ぜた維持療法を行っています。また生まれながらにしてBRCA遺伝子に異常を有する遺伝性乳癌・卵巣癌症候群(Hereditary Breast-Ovarian cancer syndrome: HBOC)の患者さまに対する腹腔鏡下リスク低減卵巣・卵管摘出術(Laparoscopic Risk-Reducing Salpingo-Oophorectomy: RRSO)も行っています。

04 お問い合わせ

外来日 ： 月曜日～土曜日
窓 口 ： 福岡和白病院 婦人科
ＴＥＬ ： 092-608-0001（代表）

定期演奏会

他院での演奏会をご覧になった病院職員の方からお声がけいただいたことをきっかけに、定期演奏会が始まり、もうすぐ1年になります。現在は月4回、演奏会を開催していただいています。
音楽療法を学ぶ中で、音楽は記憶や思い出と深く結びついていることを感じています。
懐かしい曲を聴くことで、その頃の出来事や歌詞がよみがえり、演奏後に「懐かしかった」「昔を思い出した」と声をかけてくださる方もいらっしゃいます。
中には、思い出の曲に涙を浮かべる方もいらっしゃり、音楽が人の心を動かす力を日々実感しています。
季節に合わせた曲や懐かしい曲など、毎回演奏曲目を考え、生演奏ならではの音の響きや音楽を聴く時間を楽しんでいただけるよう心がけています。
入院中の方だけでなく地域の皆さまにも、病院で生の音楽に触れていただけるこの機会を大切にしてくださっている病院の皆さまに心より感謝しています。
これからも、音楽を通して心が穏やかになるような時間をお届けできたらと思っています。





Pianist

竹内 優希　Takeuchi Yuuki

音楽療法カウンセラー、メンタル心理ミュージックアドバイザー、日本音楽療法学会員。

福岡スクールオブミュージック専門学校卒業後、リトミックや音楽療法カウンセラーの資格を取得。
現在はピアノ講師を務めながら老人ホームやJR九州ななつ星、グランドハイアット福岡での定期演奏を開催。

毎月の開催スケジュールはウェブサイトや公式LINEでお知らせしています。
ぜひチェックしてみてください。

ホームページ　LINE

医療連携の会 開催報告

令和８年９月２日（水）に福岡リーセントホテルにて『令和８年度 福岡和白病院 医療連携の会』を行いました。
当日は、地域の医療機関より約 260 名の方にご参加いただき、当院の医師も含め 300 名以上の参加者による盛大な会となりました。



▶ 前半は勉強会
当院の医師４名が、それぞれの専門分野に関する講演を行い、最新の知見や診療の工夫について発表しました。

▶ 後半は情報交換会
参加者同士、また当院医師との活発な交流が行われ、医療連携の一層の強化に繋がる有意義な時間となりました。
地域の先生方に日頃よりご支援・ご協力をいただいていることに改めて感謝申し上げます。
今後も、より一層の医療連携を推進し、地域医療の発展に貢献してまいります。

演者	循環器内科部長	芹川 威
	産婦人科部長	安永 昌史
	脳神経外科部長	一ノ瀬 誠
	呼吸器外科部長	山岡 賢俊





献血 開催報告と次回開催案内

8月の献血では193名が参加、173本の血液を日本赤十字社にお届けすることができました。
地域の皆さまの参加も多く、日本赤十字社のスタッフの皆さまからの感謝の言葉をいただきました。
熊本災害の影響で、熊本の献血事業が難しい状況のため、九州全体の月当たり献血数は約1000本少ない現状です。
少しでも多くの血液をお届けするため、今後も積極的な献血推進を行いたいと思います。



次回　2026年12月16日（水）▶18日（金）
10:00〜16:00　会場　福岡和白病院 南口 特設会場



第５回　福岡和白病院　健康フェスタ開催

開催日時　2026年 11月15日（日）
11:00〜14:00

会場　令和健康科学大学　体育館駐車場

参加費　無料

内容　ステージイベント、フードコーナー、
キッズコーナー、健康測定ブースあり



お問い合わせ先　福岡和白病院　医療連携室
担当：桑名・宮本 まで　TEL.092-608-0001（代）

病院ホームページ ▶

市民公開講座
開催スケジュール

総開催数	開催日	診療科	講師	テーマ
第 44 回	10/31 10：00 〜	循環器内科	芹川 Dr.	自分の身体と向き合う肥満症のお話
第 45 回	11/07 10：00 〜	皮膚科	古賀 Dr.	高齢者に多い皮膚の病気
第 46 回	11/21 10：00 〜	呼吸器外科	山岡 Dr.	ダビンチ手術
第 47 回	12/05 10：00 〜	薬局	井上 貴文	インフルエンザの予防と薬の話
第 48 回	12/19 10：00 〜	整形外科	岡﨑Dr.	骨粗鬆症について

講座の前にプロの演奏者による定期演奏会を、講座の後は体操教室も行っています。当日参加も大歓迎です。
開催のご案内は公式 LINE や Facebook でもお知らせしています。ぜひチェックしてみてください。

LINE　Facebook

お問い合わせ
福岡和白病院 医療連携室　092-608-0001　月曜〜金曜 9:00〜17:00

地域のかかりつけ医として健康を支えてまいります

りきまる整形外科クリニック

RIKIMARU CLINIC



院長　力丸 悠

これまで近隣の福岡和白病院や県内外の関連病院で多くの手術を執刀し、また外来や入院加療を経験してまいりました。

誰でも病気になったり痛みがあれば辛いものです。その辛さを分かち合い一緒に良くなるように治療していくことを目標にしております。また当院は地域でも有数の規模を誇るリハビリ施設を要しておりますのでリハビリを希望される方に満足のいく治療が提供できると考えております。

手術が必要な方に関しては近隣の病院と連携し信頼できる医療機関に紹介させていただきます。健康維持の為に予防医療にも取り組んでいきたいと思います。

皆さまの健康につながるよう、地域のかかりつけ医として日々精進してまいりますので、お気軽にご相談ください。

診療内容
- 整形外科
- スポーツ整形
- リハビリテーション科
- リウマチ科
- 骨粗鬆症
- 交通事故・労働災害
- ロコモティブシンドローム



リハビリテーション室の完備

充実した物理療法と運動器リハビリテーションを実施。理学療法士がていねいなサポートを行います。



土曜日診療

当院では土曜日も午前・午後と診療しております。平日は仕事で忙しく受診できないという方もご来院ください。



診療科目　整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00〜12:30	●	●	／	●	●	●	／
14:30〜18:00	●	●	／	●	●	▲	／

休診日：水・日・祝日
▲ … 土曜午後の診療は14:00~17:00となります。
※診療受付時間は、午前8:45〜12:00、午後14:15〜17:30
（土曜午後は13:45〜16:30）となります。
※初診の方は電話予約なしで直接ご来院をお願いいたします。

〒811-0201　福岡県福岡市東区三苫7丁目3番10号
092-405-2577



最寄：三苫小学校近く

福岡和白病院　広報誌
第67号　2026年10月発行

ホームページ

YouTube 福岡和白病院チャンネル

Facebook

Instagram

LINE

基本理念

手には技術、頭には知識、患者様には愛を

基本方針

1. 高度医療	学問的に高い水準の医療を提供します。 そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。
2. チーム医療	患者さまの目線に立った安全で安心できるチーム医療を提供すべく、 急性期医療から、早期リハビリ、退院支援までニーズに沿った医療を提供します。
3. 地域医療	いつでもだれでも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域の中核病院を目指し、地域の医療施設・福祉施設と密接な連携を推進します。

患者の権利と義務

1. 思いやりのある、人権を尊重した医療を受ける権利があります。
2. 担当医師から症状及び治療方法について説明を受け、良く理解した上で自らの意思に基づき治療方法を選択したり、セカンドオピニオンを求めたり、また治療を拒否する権利があります。
3. プライバシーを保護される配慮を受ける権利があります。
4. 医療費の請求書の明細について説明を受ける権利があります。
5. より良い医療を受けられるよう医療従事者と協力し、積極的に医療に参加する権利と他の患者様や医療従事者に支障を与えないよう配慮していただく義務があります。





交通アクセス

福工大前駅（JR）から徒歩15分
和白駅（JR）から徒歩10分
和白丘バス停（西鉄）から徒歩3分
和白駅（西鉄）から徒歩10分
福岡空港から車で約30分

社会医療法人財団　池友会　**福岡和白病院**

〒811-0213 福岡市東区和白丘2-2-75　E-mail info@f-wajirohp.jp

TEL.092-608-0001（代）　福岡和白　検索

災害拠点病院　開放型病院　地域医療支援病院　救急告示病院
基幹型臨床研修指定病院　特定行為研修指定研修機関
日本医療機能評価機構認定病院　がんゲノム医療連携病院
地域がん診療連携拠点病院　福岡県 DMAT 指定医療機関